

分析業は文責業!?

取締役支配人 総務管理室担当 水野 雅之



私は、今分析を業とする会社で働いていますが、分析業の基本は何かというと、間違いのない分析結果のデータとそれによりお客様の事業に貢献できるレポート、これが分析業の命だと思います。

私は、お休みの日曜日の昼下がり、テレビ大阪で再放送されている「開運!なんでも鑑定団」を見るのが楽しみです。鑑定士の先生方は、古美術の中島誠之助先生、日本画の安河内真美先生、マニアものの北原照久先生が中心で、視聴者の持ち込む骨董品、美術品などの価格鑑定を行うというもの。番組では先生方がその慧眼を発揮され、少し見ただけで簡単に鑑定・値付けをされているようですが、参加者が鑑定価格に一喜一憂する姿を見るにつけ、テレビには映らない先生方の鑑定に際しての下調べ、調査にはきっと真剣なものがあるのだろうなと考えるところであります。分析業も同じで、結果がものを言いますが、その結果を導き出すには担当者の豊富な知識と経験があって始めてできるのであって、またその結果のデータと報告書はお客様の事業活動に大きな影響を与えるところと考えます。

話は飛びますが、つい先日までテレビ朝日系列で放映されていました「科

捜研の女」も面白いドラマでした。沢口靖子演じるころの京都府警科学捜査研究所の法医学研究員「榎マリコ」女史がDNA鑑定・画像解析などを駆使して犯罪を解明するというものでしたが、画面にはときどきLCらしき分析機器を使って分析する姿が映り印象に残るものがありました。分析についてテレビドラマで触れられることは私の知る限り珍しいものではないかと思うところで、これは分析行為がドラマの中に出てくる数少ない作品ではなかったかと思えます。分析業そのものが舞台になることは今後も少ないと思われませんが、分析行為がドラマに出てきて視聴者に身近なものとして紹介される機会が増えることを願います。

私は、分析業は社会や企業活動を支える、世の中になくなくてはならない仕事だと思いますが、残念ながら脚光を浴びる機会が少ないと思えます。他方、社会や企業活動を支えるという意味では、データや報告内容に決してミスがあってはなりません。そういう意味で自分たちの成果に責任を持つ、つまり「分析」の「文責」は自分にあるという覚悟をもって業務に取り組む姿勢を忘れないようにしなければならないと考えます。

これは、文系の職場でも間接部門でも同じだと思います。そこで作成するデータや報告書も、分析データやお客様に出す報告書と同じであって、それらにも決して間違いがないように心が

けなければなりません。常に自分で確認する、上司も間違いに即座に気がつく感受性を持つ、それが文系や間接部門の職場でも必要だと痛感します。ラボだけでなく、総務や経理、企画、技術といった職場も分析業=文責業、自分たちの作成する文書やデータにミスは許されないという覚悟を持って仕事に取り組まなければならないと思います。

余談になりますが、巷間話題になっている経済評論家・公認会計士の勝間和代さんに触発され、様々な自己啓発を実践している人たちのことを「カツマー」と呼ぶと聞きました。私たち古い世代の時代にも自己啓発本はいろいろとありましたが今は勝間さんということのようです。先日、日曜朝のウォーキング中にラジオで聞いた話を一つ。FM東京系の「梶原しげるのTALK TO TALK」という番組で今話題になっている「草食系男子」という言葉の原作者である深澤真紀さんとの対談を放送していました。そのなかで深澤さんが「勝間さんはビジネス界のいわゆる「イチロー」や「松井秀喜」であり、勝間さんになろうというのはイチローになろうということと同じで凡人には所詮無理」との趣旨のことをおっしゃっていました。志は大事ですが、まことにもっともなことと思えました。自分で満足できる程度に、地道に日々努力することが大切だと思います。(文責=水野)

編 集 後 記

SCAS NEWS 2010-1号をお届けいたします。今回は、可視化、医療、材料をテーマとして巻頭言に、名古屋工業大学大学院工学研究科物質工学専攻教授、大谷肇先生に「大学教育および分析現場におけるIT化の功罪」と題して示唆に富む提言を賜りました。また札幌医科大学医療人育成センター教授、藤井博匡先生には「生体内で生成するフリーラジカ

ル種とその検出について」と題して最近の話題や技術についてご紹介いただきました。その他、関連テーマの技術報告、SCAS NOW、トピックス、法律ウォッチャー等もご紹介させていただきました。今後も、お客様のご期待に応えられるよう当社の最新分析技術情報を提供してまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願ひ申し上げます。

編集・発行 株式会社住化分析センター 発行日 2010.2.26 2010-1 (通巻31号)
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-17 TEL06-6202-1807 FAX06-6202-0116
ホームページ <http://www.scas.co.jp> E-mail: webmaster@scas.co.jp



千葉事業所と愛媛事業所は、ISO/IEC17025に基づく認定事業所で、環境分野や化学、電子工業製品分野などにおける特定項目の認定を受けております。
千葉事業所の認定番号: JCLA1
愛媛事業所の認定番号: JCLA5

当社事業所はISO9001およびISO14001の審査登録も受けています。

千葉・筑波事業所: JQA-1105/01ER-171
大阪事業所: JQA-1814
愛媛・岡山事業所: JCQA-0253/JCQA-E-0465
大分事業所: JQA-QM3707/JQA-EM2093
ファーマ事業所: 医薬品GLP
大阪事業所: 農業GLP

! はインシュタインの疑問符です。彼のあくなき好奇心と探求心こそが、宇宙真理発見の原動力だったのかも知れません。

SCAS Sumika Chemical Analysis Service

東京営業所(本館)	TEL 03-3257-7201	大阪事業所	TEL 06-6466-5247
東京営業所(別館)	TEL 03-5259-5961	筑波事業所	TEL 029-864-4741
大阪営業所	TEL 06-6202-1000	医薬事業本部	TEL 06-6466-6426
名古屋営業所	TEL 052-952-8969	医薬事業本部	TEL 097-523-1964
医薬事業本部	TEL 03-5259-5964	医薬事業本部	TEL 06-6466-5251
医薬事業本部	TEL 06-6202-1801	技術開発センター	TEL 0438-63-6176
千葉営業部	TEL 0438-64-2281	関エンパイロ・ソリューション	TEL 03-5259-6032
岡山営業部	TEL 086-477-8103	SCAS SINGAPORE PTE LTD	TEL 65-6899-3819
愛媛営業部	TEL 0897-32-3411	住化分析技術(上海)有限公司	TEL 86-21-5677-8181
大分営業部	TEL 097-523-1181	SCAS Europe S.A./N.V.	TEL 32-2-255-76-70
福岡営業部	TEL 092-737-5303		